

12月4日～10日は人権週間です

## 児童の作文から人権について考える

人権を大切にするためには、まず日常生活の中にある人権問題に気づく必要があります。今回は、市立学校の児童生徒が書いた人権作文を通して、人権の大切さについて考えてみましょう。

### 「誰もが大切にされる世の中を願って」

福島小学校 六年 谷口詩歩さん

みなさん、人権という言葉の意味を知っていますか。人

権とは、自分を大切にすること。そして、自分以外の人も自分と同じくらい大切にすることです。

今年の六月に「アメリカでアジア系住民への暴力事件が急増している。」というニュースを知りました。その理由は、新型コロナウイルス感染症の拡大の原因が、アジア地域にあるとしたり、アジアに住む人々にあるとしたりする考えが強くなったからです。

このニュースを聞いて、心が痛くなりました。私は、将来海外で勉強したり、働いたりするのが夢です。海外に行けば、様々な文化や考え方をもらった人たちからいい影響を受けて自分自身が成長できると思ったからです。

しかし、このニュースは私の夢も暗くしてしまいました。このニュースを聞いて、私も差別を受ける側になるのかと思ったからです。このニュースのように、アジア人というだけで、突然頭を殴られ意識を失うようなことになるのかと思うと恐怖さえ感じます。なぜ、このようなことが起きるのでしょうか。それは、その人のことを知らない、知ろうとせず、根拠のない決めつけをしていることが問題だからです。

しかし、この決めつけは、誰の心の中にもあって、人間の弱さの象徴です。もちろん私の心にもあります。

今、私は修学旅行に向けて平和学習をしています。学年全員で学習しているのですが、今まで話したことがない友達とグループになりました。最初は、うまくやっていけるだろうか。と思ったり、友達から「Aさんって、こんな性格よ。」と聞いたことを信じていたりしていました。実際に何時間も一緒にいて、一緒に調べ学習をしたり、プレゼンを作ったりする中で、今まで話したこともなかった友達のいいところ

がたくさん見えてきました。今まで思っていた印象がどんどん変わってきました。私も間違った情報を信じて友達と接していたことに気づきました。

今、私は、海外に行くことが楽しみでもあり、心配でもあります。小学生の私が日本で出来ることは、この決めつけや、根拠のないことを信じるのではなく、本当に相手の事を知るために自分から友達に歩み寄っていくことです。誰もが自分と同じように大切にされる世の中を作っていきたいと思います。

海外でのアジア人差別のニュースを自分ごととして考え、そこから自身の日常を振り返った谷口さん。「根拠のない決めつけ」の危うさに気づき、今後は不確かな情報に惑わされないと決意を新たにしました。

誰もが大切にされる世の中を実現するために、一人一人が自分にできることを考え、それを行動に移していきたいですね。





## ■ みんなに届け人権の花

### 《人権の花運動》

この運動は、人権の花であるひまわりを、子どもたちが協力して育てることで命の大切さを実感し、豊かな心や優しさ、思いやりの心を育むことを目的として行っています。

今年度は黒木西小学校、立花小学校、上陽北浜学園の子どもたちが取り組み、暑い日も欠かさず水やりなどのお世話を続けました。ひまわりは子どもたちの頑張りに応えるように大きく成長し、たくさんのお花が採れました。集めた種は、心のこもった手書きのメッ

## 人権メッセージ（標語）

### ■中学生・義務教育学校後期課程および特別支援学校中学部以下の年齢の部

#### 【特選】

- みんなちがう  
みんないい  
笑顔は虹色

八幡小学校 6年  
棚木結愛さん



#### 【入選】

- あなたの手 勇気を出せば 救いの手  
南中学校 2年 石井智也さん
- やめようよ ひそひそ話と げなげな話  
三河小学校 4年 山本陽斗さん
- コロナでも 心と心は 密でいよう  
岡山小学校 4年 入部爽さん

### ■一般の部

#### 【特選】

- 勇気・やさしさ・思いやり  
あなたのハートの ポケットに！ 松延忠博さん

#### 【入選】

- その風評 <sup>うわさ</sup>だれが言いだしたの 私かも  
K・Nさん
- 無知からくる「えすか〜」がほんとのえすか〜  
下川文子さん
- 助けてと 言っているのよ 弱くない  
N・Mさん

全部で1,488作品の応募をいただきました。  
たくさんのご応募ありがとうございました。

セージを添えて風船につけて飛ばしました。  
空高く舞い上がった風船が遠くの地で誰かの手に届き、人権の輪が広がっていきますように。

## ■人権について考える

「人間は誰もがみな生まれながらにして自由で、かけがえのない存在であり、わけへだてなく扱われるべきである」1948年12月10日に国連で採択された、世界人

権宣言ではこのようにうたわわれています。

「人権」とは、一人一人が生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことで、自分も自分以外の人もすべての人が「自分らしく」生きるために必要なものです。

八女市では、子どもたちが学校の授業などを通して人権について学んでいます。思いやりの心、命の尊さ、人間が共に暮らしていくうえで自分らしく生きることを認

められる権利など、子どもたちが自身の大切さを認めるとともに、他者の心の痛みや思いを想像できる力や感受性を育むことを目指しています。

人権週間であるこの機会に、子どもたちの学びにならない、私たちも身近な人権について考えてみませんか。一人一人の違いを認め合い、自分も他の人も、それぞれが大切な存在であることを再確認する、そんな時間を過ごしてみたいかがでしょうか。